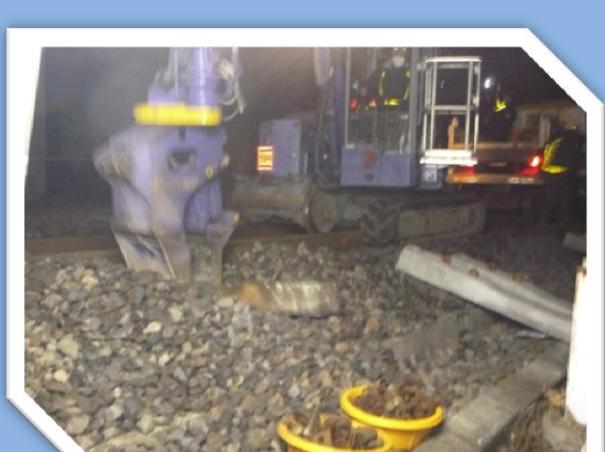
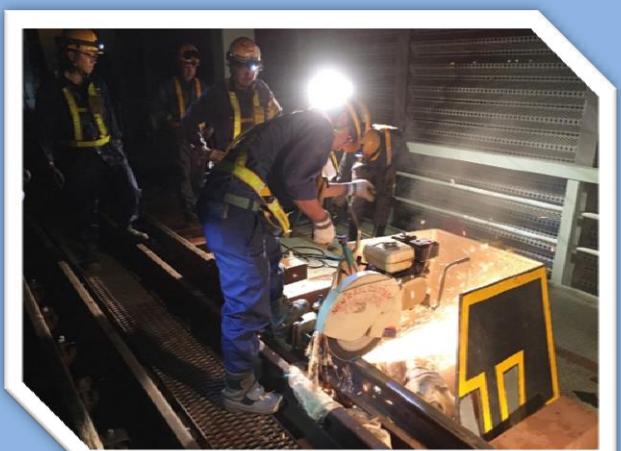


# 維新建設株式会社



小山事業所



## ご挨拶

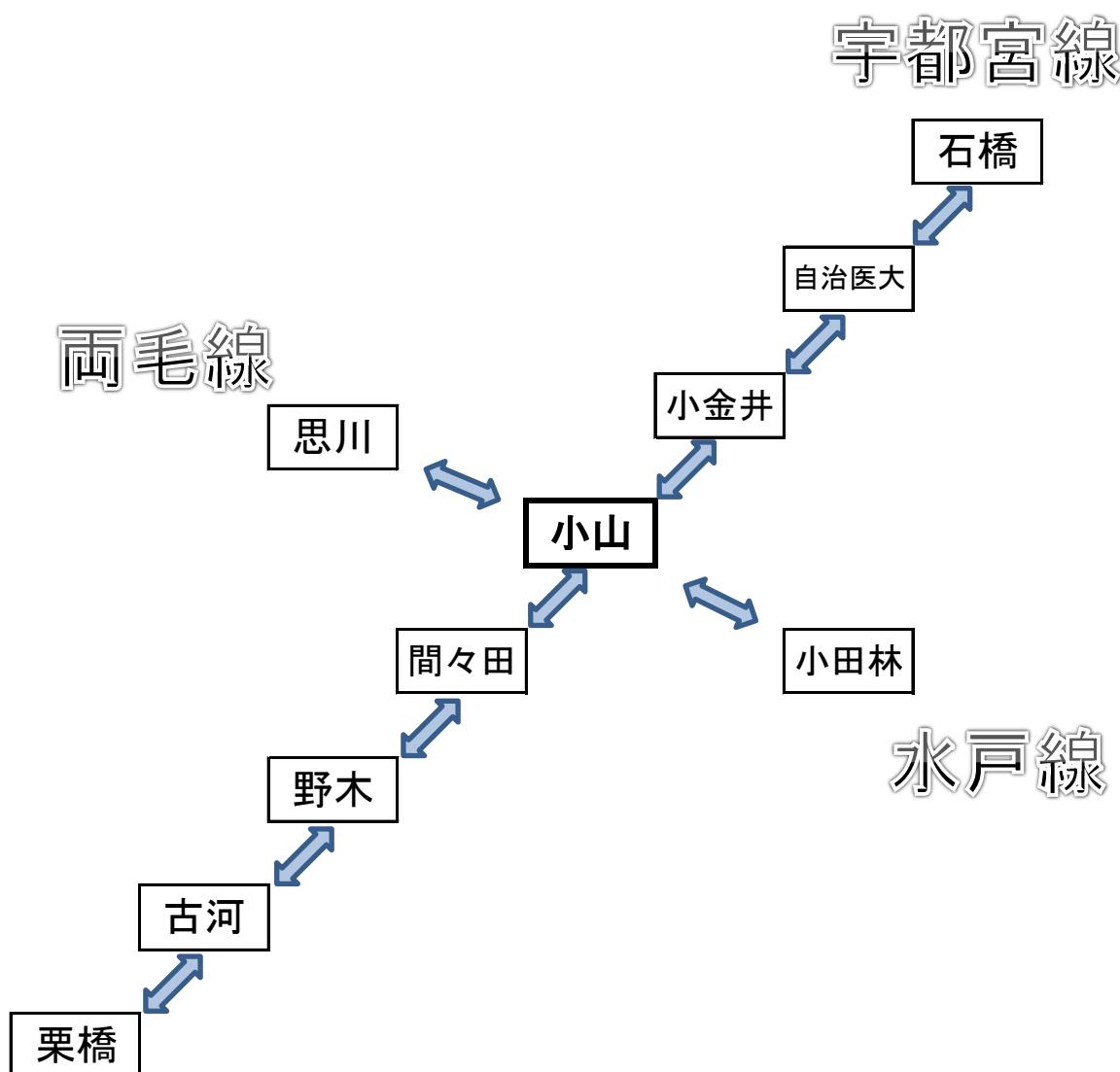
小山事業所 所長 菊池純一

維新建設(株)小山事業所は平成27年2月で丸20年を迎えるました。私たちの業務は列車を安全、安定輸送させ、そしてお客様には快適な乗り心地を提供できるよう日夜、保線業務に励んでおります。

小山エリアに事業所を構えてからほぼ毎日、皆様が寝静まった後に保線業務が始まります。業務内容は多岐に渡り、レール交換、マクラギ交換、少なくなった碎石(砂利)を補充したりと、一般的な建築、土木とは違う作業が目白押しでやりがいがあります。また、常に「安全」を第一に考え、安全で安心して働く職場へと進化させてきました。おかげで、JR東日本様からは大きな信頼を得ており、他業種と比べると安定した職業だと思います。

私たちの使命は「列車の安全・安定輸送とお客様には快適な乗り心地を提供」です。ぜひ、私たちと一緒に列車の安全・安定輸送を支え、お客様に快適な乗り心地を提供しましょう。

# 私たちが担当するエリア



私たちちはこの20年、JR宇都宮線(東北本線)をはじめ、両毛線、水戸線を含めた小山管内の保線業務を一手に担ってきました。東北本線では北は石橋駅から南は栗橋駅までの総延長で約42kmの範囲を保守作業しており、両毛線は小山駅から2kmまでの範囲、水戸線は小山駅から3kmの範囲を任せています。

# 我々の作業風景(1)

## 道床交換



列車が毎日走っていると碎石が小粒になつたり、雨水が溜まって噴泥したりして車の乗り心地が悪くなる原因となつてきます。そうした箇所を直すために重機械(BH)を使用して碎石の交換を行います。

## PCマクラギ交換



レールを固定しているマクラギはコンクリート製となり、耐久年数も以前の木マクラギより数段と上がっています。老朽化したPCマクラギは順次マクラギ交換を行い、交換作業につきましては人力で行う場合と重機を(BH)使用して行う二通りの施工方法があります(写真は重機による交換作業です)。

## 分岐器交換



駅構内には列車を他の線路に移動させるために分岐器が多数あります。分岐器のレールは列車が通過すると少しづつ削れてきます。そのため、定期的にレール交換をする必要があります。写真は分岐器の一部のレールを交換しているところです。定期的に交換することにより、列車が通過した時に脱線することなく列車を安全に走らせることができます。

# 我々の作業風景(2)

## 総つき固め



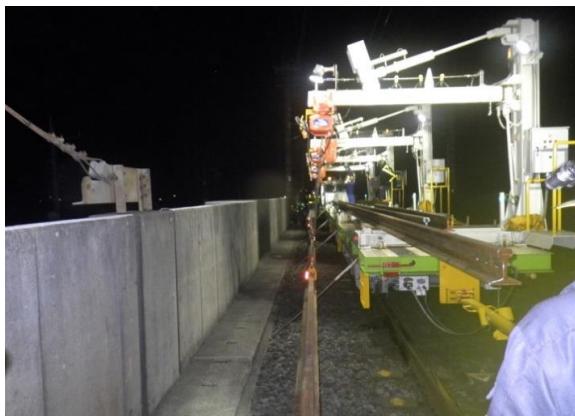
列車が通過した際、線路が上下に動き乗り心地が悪くなるので、ジャッキで線路を持ち上げます。持ち上げた際に出来るマクラギと碎石の隙間にタイタンバーで振動を与えて碎石を詰め込んでいきます。作業後は、線路が締まっているので、列車が通過しても上下に揺れことがなくなります。

## レール交換



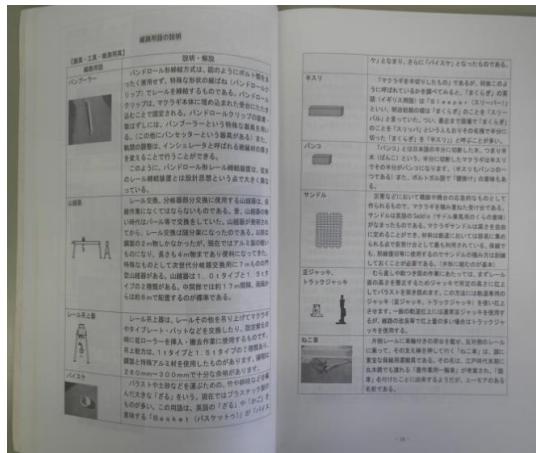
列車はレールの上を走ります。レールの損傷や摩耗など列車が通過した年数によってはそのままにしておくと脱線事故に繋がりかねないので、年間を通じてレール交換を行っています。一晩でレール交換する長さは最長で400mの交換を深夜、列車が走らない約2時間で行っています。

## MCによるレール運搬



列車が走っていない時間帯を利用してレールなど工事に必要な線路の材料はMC(軌道モーターカー)を使用して運搬を行います。写真はレールを作業現場に下ろしている所です。

# 仕事を楽しく覚える



私たちの保線作業は建築や土木工事とは違い、特殊な職種に分類されると思います。道具ひとつ取ってみても、土木工事では「つるはし」と呼ばれる道具がありますが、保線では「ビーター」と呼ばれています。それ以外にも「スコップ」ではなく「ナワスコ」と呼び「プレート」も保線では「コンパクター」など、名前ひとつとっても他業種とは違うことが分かります。

このように保線作業は道具の名前や取扱いを覚えることが特殊なので多いです。そこで、上記の写真で紹介した「絵で見る安全マニュアル」や「軌道工の皆さんへ」といった冊子があります。この冊子は、線路内で作業するうえで必要な情報が分かりやすく説明しています。さらに、安全な作業するうえでの注意するべきことも一目で分かります。また、「線路のマメ知識」は保線作業特有の道具を絵や写真を使って紹介しています。未経験者へ分かりやすく解説するなど、とても親切な作りになっています。これらの教本を読んで理解してから現場に出て、先輩に指導されながら作業を少しずつ覚えてもらいます。

# 終わりに



私たちが従事する保線業務は建築や土木工事とは違い、非常に特殊な職種に入ると思います。また、社会貢献度から見ても他の職種と比べると圧倒的に貢献していると思われます。「2011年3.11東日本大震災」では、いち早く東北本線の線路を復旧して物資の運搬に貢献することが出来ました。日常の生活において、列車が止まると十万人規模で影響が出てしまうことからも、いかに鉄道が交通インフラとして重要であるかが分かるかと思います。

世間一般からしてみると「軌道工って何?」と思う人が大半かと思いますが、「列車の安全・安定輸送」、「お客様の乗り心地向上」は私たち軌道工が縁の下の力持ちとなって保たれていると言っても過言ではないと思います。だからこそ、私たちの仕事は列車が走っている限り無くなることがない、安定した業種だと思います。肉体労働のイメージが強いところもありますが、機械化も進み胸を張って誇れる職種だと思いますので、少しでも興味を持っていただけましたら一度遊びに来てください。ご連絡お待ちしております。

小山事業所 社員一同

*Ishin Construction Co Ltd*